

下水道への接続と浄化槽による水洗化を支援します

市では衛生的で快適なまちづくりのため、下水道の整備と普及に努めています。また、下水道法に基づき、供用開始後3年以内の接続をお願いしています。ご理解いただき、一日も早く下水道への接続をお願いします。

下水道に接続すると・・・

- ・水洗トイレが使えます
- ・周辺の溝や水路が清潔になり、害虫や悪臭がなくなります
- ・川や海がきれいになります

接続に関するお問い合わせは、下水道課、または指定工事店をお願いします。また、工事費の融資あつ旋も行っていますのでご利用ください。

浄化槽区域にお住まいの人

安来市には、公共下水道や集落排水の集合処理区域がありますが、このほかの区域は浄化槽の設置をお願いしています。浄化槽区域の場合、次の制度を利用できます。

①浄化槽設置の補助

個人が自費で浄化槽を設置する際に、設置費の一部を補助します。今年度受付は10月頃までです。

先着順で予算が無くなり次第受付を終了します。

○補助金額（豪雪地帯を除く高度処理型浄化槽）

- ・5人槽 36万円
- ・7人槽 46万2000円
- ・10人槽 58万5000円



②市設置型浄化槽

市が浄化槽を設置します。浄化槽の維持管理を市が行いますが、別途負担が必要です。

申請後に施工業者を選定するため、申請から工事完了まで2～3カ月程度かかります。今年度受付は10月頃までです。

先着順で予算が無くなり次第受付を終了します。

○申請者が負担するもの

- ・受益者分担金 20万円
- ・排水設備工事費 市の指定工事店に相談ください
- ・下水道使用料 水道使用量に応じて算定します

問い合わせ 下水道課 ☎23-3370



▲右：大成古墳（荒島町）出土の銅鏡（色が薄い部分は東京国立博物館蔵）。同型鏡が大阪府と鳥取県で見つかっており、ヤマト王権から分配されたと考えられています。左：造山2号墳（荒島町）から出土した人物埴輪と円筒埴輪。

古墳時代の安来市

3世紀まで独自の文化圏を誇っていた出雲地域も、ヤマト王権を中心とした古墳文化に取り込ま

れ、出雲地域で最も有力な豪族の勢力が数百年にわたり造り続けた首長墓が古代出雲王陵の丘（荒島町）周辺に点在することです。

～歴史資料館資料～
連載④ 知っておきたい
安来市の歴史

れ、中海沿岸から赤屋、比田に至るまで多くの古墳が造られます。安来市の古墳の特徴の一つは、出雲地域で最も有力な豪族の勢力が数百年にわたり造り続けた首長墓が古代出雲王陵の丘（荒島町）周辺に点在することです。

もう一つの特徴は、朝鮮半島由来の金銅装冠飾りや保存状態がとても良い金銅装大刀など、歴史的価値の高い副葬品が多数出土していることです。

このうち、月坂放レ山5号墳（月坂町）出土の短甲、鉄ヤリ、刀剣、矢じり、銅鏡は古墳時代中期の出雲を代表する資料です。短甲とは鉄製のよろい、高度な金工技術で作られていることから、ヤマト王権の下で生産され各地の有力者に配られたと考えられています。

問い合わせ

歴史資料館 ☎32・2767



▲月坂放レ山5号墳（月坂町）から出土した短甲。

